

2021年12月17日

## 将来のあなたが後悔しない選択

立命館慶祥中学校・高等学校

校長 江川 順一

12月17日は冬休み前の全校集会でした。この時、中学の全校集会において私が話したことに基づき、ここではもう少し丁寧に、中学生のあなたと一緒に考えてみたいと思います。

今年最後の全校集会に当たって、お話を2つします。

まず、1つ目、「コロナと国内研修」です。

新型コロナウイルスの新規感染者は、昨日現在、北海道で12名、国内では190名となりました。一方、WHOの昨日の発表では、オミクロン株は、世界の殆どの国に感染が広がっています。日本政府は、オミクロン株の水際対策強化を行い、国内での感染拡大を食い止めようとしています。コロナへの対策。これは、相変わらず予断を許さない状況にあります。

この夏からのコロナの状況を振り返ってみます。8月20日に過去最多となる約26,000人の新規感染者がありました。9月30日には緊急事態宣言が解除。この時の新規感染者数は1,600人弱。

これ以降、新規感染者はぐっと減少の一途をたどりました。これらの状況を受け、立命館学園は、学校行事を平常時に準じる対応を行い、中2と高2の研修を実施しました。

中2の京都研修は、10月12～15日で実施。研修テーマは「世界に誇れる日本を探す旅—京都で学ぶ日本のすばらしさ—」としました。内容は、立命館大学でのキャンパスツアーと体験授業です。京都・滋賀コース別自主研修9コースをあわせて実施しました。帰校してからは、保護者や後輩に向け、班ごとに自身の学びを伝える壁新聞やパワーポイントの制作に余念がありませんでした。

また、高2の国内研修は、10月から11月にかけて実施。海外研修の実施を断念し、選択型国内研修としました。皆さんからコース案を募集、そして、提案者自らが高2の皆さんにプレゼンして投票を行いました。その結果、東北、石川、関西、瀬戸内、九州、座間味島、八重山諸島、屋久島・種子島の8コースを設定し実施しました。このプログラムは、国内での代替研修として、まさに1から練り直したものでした。

ともに、出発前にPCR検査を実施し、参加者全員の陰性を確認して出発しました。公立学校にはない、念には念を入れての対応です。

昨年度のちょうどこの時期、校長として、すべての研修について、延期の末に中止という切ない決断をしたことを、昨日のこのように思い出します。だからこそ、今回は行うことができ本当に良かった。

研修旅行のために、事前の準備をたくさん、たくさん重ねてきた皆さん、本当にお疲れ様でした。その思いは、皆さんとともに準備に真剣に、そして懸命に取り組んできた教員も一緒です。

そのことを改めて確かめて、生徒の皆さんの、そして先生方の労苦をねぎらいたいと思います。

年明けには、中1の二セコへの北海道研修、中3の大分・長崎・福岡への九州研修を予定しています。これらの研修も無事実施できることを期待しています。

次に、2つ目、「稲葉篤紀さんの講演会と田中賢介さんを交えた座談会」です。

中学校は、8日前に特別講演会を実施することができました。中学3学年全員がアリーナに集まったのは、実に2年ぶりだったということ、意識していましたか？

今回の全校集会形態は、中1と中2のあなたは、初めての経験でした。中3のあなたも、実に2年ぶりだったのです。私は、まずは、そのことに喜びを覚えました。リアルで全員が揃うことの有り難さ（「有ること難し」ですよ）を改めて噛みしめたのです。

今まであって当然だと思っていたことが、実は当然ではなかった、ということ、私たちはコロナ禍で学びました。であるからこそ、コロナ禍に直面する私たちの生活の中に少しずつ戻ってくる日常を、改めてよく見直して、その一つ一つに感謝しなければいけません。

今まで当たり前だと思っていたことが、実はいろいろな人たちの苦労や尽力の上になり立っていたのだということに思いを馳せることは大切です。私たちは、このコロナ禍にあって学んだことはたくさんありますが、このことこそは、大きな学びの一つだと思うのです。

今回の秋の講演会は、第1部が日本ハムファイターズの稲葉篤紀GMの講演でした。

この講演会は、2か月前に役員改選をしたばかりの中学生徒会による、初の大仕事となりました。生徒会役員が一丸となって、慶祥ホスピタリティのもと、入念な準備をして当日の取り回しができること、素晴らしかった。また、入退場の稲葉GMと賢介さんの現役時代の登場曲を演奏してくださった吹奏楽部の皆さん、素敵な演奏だった。参加した中学生全員が、皆さんの苦労と尽力に感謝しています。

さて、稲葉GMのお話は「よいチーム」づくりについてでした。「よいチーム」をつくるため、4つのキーワードを示していただきました。それは、「目標」「仲間」「感謝」「結束」です。東京オリンピックでの優勝は、このことに尽きる。しっかりした「目標」をもち、「仲間」を大切にしながら「感謝」を忘れず、心を一つにして「結束」する。このことが「よいチーム」をつくり、東京オリンピックでの優勝を勝ち取ることができたというわけです。もう一度言います。「よいチームづくり」、そして、それを成し遂げるキーワードが「目標」「仲間」「感謝」「結束」の4点です。

もう一つ私の印象に残った話は、稲葉GMが人生の二択で迷ったという話。これ覚えていますか？

当時、「ヤクルトに残る選択肢」と「ファイターズに移籍する選択肢」と、2つから選択することを迫られた。そこで損得ではなく、将来の自分の可能性にかけて選択した。将来の自分が後悔しない選択をしたという話です。これは興味深かった。ここには、自分を高めるための大きなヒントがあると思うからです。

将来の自分のために、将来の自分が後悔しない選択をする、ということ。私は、常々、「自分の価値は自分で決める」ことが大切だと考えています。あなたは、将来の自分のイメージをどのように描いていますか？将来の自分は、お父さんが決めるのでもありませんよ。お母さんが決めてくれるのでもありません。

あなたの将来は、あなた自身が決めるのです。あなたの価値は、あなた自身が決めるのです。そのことを肝に銘じてほしい。そのために、あなたは、「将来のあなたが後悔しない選択」を、自分のためにして欲しいと心から願っています。

この話を聞いたあなたは、今日から変わります。今まで、お父さんやお母さん、お兄さんやお姉さんなど、あなたの家族が「勉強しなきゃダメ」と口うるさく言われるので、仕方がなく勉強してきたあなた、これ、

大きな間違いですよ。

将来のあなたが後悔しない選択を、あなた自身の判断でするのだ、ということを、今日から実践しましょう。この冬休み、どんなあなたを作りますか？ 冬休み明け、ひときわ成長した皆さんを楽しみにしています。

そして、年明けに、再び皆さん全員が揃って、元気な姿を見せてください。

約束です。

以上、応援団長の江川校長からのお話でした。